

# 計量経済 II：中間試験

村澤 康友

2017 年 11 月 14 日

注意：3 問とも解答すること。結果より思考過程を重視するので、途中計算等も必ず書くこと（部分点は大きいに与えるが、結果のみの解答は 0 点とする）。

1. (20 点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各 20 字程度）。

- (a) 復元抽出
- (b) 母分散
- (c) 区間推定
- (d) 漸近分布

2. (30 点)  $N(\mu, \sigma^2)$  の pdf は

$$f(x) := \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} \exp\left(-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2}\right)$$

$N(\mu, \sigma^2)$  から抽出した大きさ  $n$  の無作為標本を  $(X_1, \dots, X_n)$  とする。

- (a)  $(X_1, \dots, X_n)$  の同時 pdf を書きなさい。
  - (b)  $(X_1, \dots, X_n) = (x_1, \dots, x_n)$  を観測したときの  $(\mu, \sigma^2)$  の尤度関数を書きなさい。
  - (c)  $(X_1, \dots, X_n) = (x_1, \dots, x_n)$  を観測したときの  $(\mu, \sigma^2)$  の対数尤度関数を書きなさい。
3. (50 点) K 大生の（1 日平均）勉強時間の分布を調べたい。母集団分布を  $N(\mu, \sigma^2)$  と仮定する（ $\mu, \sigma^2$  は未知）。無作為に選んだ K 大生 6 人に勉強時間を尋ねたところ、45 分・50 分・60 分・65 分・65 分・75 分という回答が得られた。
- (a) 標本平均  $\bar{X}$  と標本分散  $s^2$  を求めなさい。
  - (b)  $\bar{X}$  と  $s^2$  はどのような分布をもつか？（証明不要）
  - (c)  $\bar{X}$  の分散の推定値を求めなさい。
  - (d)  $\mu$  の 95 % 信頼区間を求めなさい。
  - (e)  $\sigma^2$  の 95 % 信頼区間を求めなさい。

## 解答例

### 1. 統計学の基本用語

- (a) 取り出した個体を母集団に戻しながら繰り返す抽出.
- (b) 母集団分布の分散.
  - 「母集団の分散」は1点減. 分散は分布に対して定義する. 例えば「日本人の所得の(分布の)分散」は分かるが「日本人の分散」は意味不明.
- (c) 母数を含む領域を定める推定.
- (d) 大標本における推定量の近似的な分布.

### 2. 最尤法

(a)

$$\begin{aligned} f_{X_1, \dots, X_n}(x_1, \dots, x_n) &= f(x_1) \cdots f(x_n) \\ &= \frac{1}{\sqrt{2\pi}\sigma^2} \exp\left(-\frac{(x_1 - \mu)^2}{2\sigma^2}\right) \cdots \frac{1}{\sqrt{2\pi}\sigma^2} \exp\left(-\frac{(x_n - \mu)^2}{2\sigma^2}\right) \\ &= (2\pi)^{-n/2} (\sigma^2)^{-n/2} \exp\left(-\frac{(x_1 - \mu)^2 + \cdots + (x_n - \mu)^2}{2\sigma^2}\right) \end{aligned}$$

(b)

$$L(\mu, \sigma^2) = (2\pi)^{-n/2} (\sigma^2)^{-n/2} \exp\left(-\frac{(x_1 - \mu)^2 + \cdots + (x_n - \mu)^2}{2\sigma^2}\right)$$

(c)

$$\ell(\mu, \sigma^2) = -\frac{n}{2} \ln 2\pi - \frac{n}{2} \ln \sigma^2 - \frac{(x_1 - \mu)^2 + \cdots + (x_n - \mu)^2}{2\sigma^2}$$

### 3. 母平均・母分散の区間推定

(a) 標本平均は

$$\begin{aligned} \bar{X} &:= \frac{45 + 50 + 60 + 65 + 65 + 75}{6} \\ &= 60 \end{aligned}$$

標本分散は

$$\begin{aligned} s^2 &:= \frac{(45 - 60)^2 + (50 - 60)^2 + (60 - 60)^2 + (65 - 60)^2 + (65 - 60)^2 + (75 - 60)^2}{5} \\ &= \frac{225 + 100 + 0 + 25 + 25 + 225}{5} \\ &= 120 \end{aligned}$$

- 標本平均で5点, 標本分散で5点.
- $s^2$  の代わりに  $\hat{\sigma}^2$  は0点.

(b)

$$\begin{aligned} \bar{X} &\sim N\left(\mu, \frac{\sigma^2}{6}\right) \\ \frac{5s^2}{\sigma^2} &\sim \chi^2(5) \end{aligned}$$

- $\bar{X}$  の分布で5点,  $s^2$  の分布で5点.

(c)  $\bar{X}$  の分散の推定値は

$$\begin{aligned}\frac{s^2}{n} &= \frac{120}{6} \\ &= 20\end{aligned}$$

•  $\sigma^2/n$  は 2 点.

(d)  $\bar{X}$  を標準化すると

$$\frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{\sigma^2/6}} \sim N(0, 1)$$

$\sigma^2$  を  $s^2$  に置き換えると

$$\frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{s^2/6}} \sim t(5)$$

t 分布表より

$$\Pr \left[ -2.571 \leq \frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{s^2/6}} \leq 2.571 \right] = .95$$

すなわち

$$\Pr \left[ \bar{X} - 2.571\sqrt{\frac{s^2}{6}} \leq \mu \leq \bar{X} + 2.571\sqrt{\frac{s^2}{6}} \right] = .95$$

$\bar{X} = 60$ ,  $s^2 = 120$  より  $\mu$  の 95 %信頼区間は

$$\left[ 60 - 2.571\sqrt{20}, 60 + 2.571\sqrt{20} \right] \approx [48.50, 71.50]$$

•  $N(0, 1)$  に基づく信頼区間は 5 点.

(e)  $5s^2/\sigma^2 \sim \chi^2(5)$  なので  $\chi^2$  分布表より

$$\Pr \left[ .831212 \leq \frac{5s^2}{\sigma^2} \leq 12.8325 \right] = .95$$

すなわち

$$\Pr \left[ \frac{5s^2}{12.8325} \leq \sigma^2 \leq \frac{5s^2}{.831212} \right] = .95$$

$s^2 = 120$  より  $\sigma^2$  の 95 %信頼区間は

$$\left[ \frac{600}{12.8325}, \frac{600}{.831212} \right] \approx [46.76, 721.84]$$